

授業科目

福祉用具プランニング演習

担当教員名 勝平 純司、 蛭名 真知子、 加島 守	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○		○

授業の概要

本科目は義肢装具自立支援学科専門カリキュラムにおける福祉用具系科目の集大成である。学生はこれまで学んだ福祉用具に関する知識と技術を統合し、対象者の個々別の条件に合致した福祉用具の提供を行えるようになるために講義および演習を行う。

授業の目的

学生はこれまで学んだ福祉用具に関する知識と技術を統合し、対象者の個々別の条件に合致した福祉用具の提供を行えるようになるために講義および演習を通じて実践的な福祉用具プランニング技術を身につける。

学習目標

- 1.福祉用具を活用した自立支援・介護軽減のプランニングができる。
- 2.福祉用具を含んだ住宅改造プランニングを実践し、簡単な図面を書くことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	福祉用具の提供, 相談技術	講義	勝平純司
2	福祉用具プランニングの理解	講義	蛭名 真知子
3	福祉用具プランニングの実際	講義	蛭名 真知子
4	福祉用具プランニングの実際 (演習)	演習	蛭名 真知子
5	認知症高齢者への対応	講義	加島 守
6	最新の福祉用具, 関連情報, 制度	講義	加島 守
7	住宅改造各論	演習	加島 守
8	福祉用具プランニング演習(1)	演習	蛭名 真知子 加島 守
9	福祉用具プランニング演習(2)	演習	蛭名 真知子 加島 守
10	福祉用具プランニング演習(3)	演習	蛭名 真知子 加島 守
11	福祉用具プランニング演習(4)	演習	蛭名 真知子 加島 守
12	福祉用具プランニング演習(5)	演習	蛭名 真知子 加島 守
13	福祉用具プランニング演習(6)	演習	蛭名 真知子 加島 守
14	福祉用具プランニング演習(7)	演習	蛭名 真知子 加島 守
15	まとめ (到達度評価)	質疑応答	勝平純司 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	福祉用具プランナーテキスト	財団法人テクノエイド協会	(株) サンワ		8,400円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

以下、二項目によって評価する。

1. 演習への積極性
2. 筆記試験

履修上の留意点

最終筆記試験はテクノエイド協会による「福祉用具プランナー資格試験」とする。

オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。